

# 2018年度 もうひとつの放課後探しプロジェクト

## 活動報告書



# 目次

目次	2
大学生スタッフ(カゴメン)について	3
キックオフイベントについて	4
プロジェクトークについて	5
今年度実施プロジェクトについて	6
・DJ練習セミナー	6
1. はじまり	6
2. 企画ミーティング	6
3. 協力者との出会い	6
4. 企画当日	7
・Don't say good-bye! ~フラッシュモブin静岡~「別れと出会い」	8
1. はじめに	8
2. 企画ミーティング	9
3. 練習	9
4. 企画当日	10
・Unique Personality Fashion Festival (ファッションショー)	11
1. はじまり	11
2. 企画の進行	12
3. 企画当日	13
4. 最後に	13
・Delight Dance Festival (ダンスステージ)	15
1. はじめに	16
2. 企画を進める	16
3. ダンスステージ当日	16
4. Delight Dance Festivalを振り返って	16
放プロ報告会について	18
収支報告	18
支出の部	18
収入の部	18
おわりに	19

## 大学生スタッフ(カゴメン)について

”カゴメン”とは、もうひとつのほう「かご」探しプロジェクトメンバーの略であり、このプロジェクトの大学生スタッフを指します。この大学生という立場は、中高生世代の若者にとって大きな意味があります。大人よりも近く、でも困った時には頼りにできる。大学生は中高生世代の若者にとってお兄さんお姉さんのような存在になれると私たちは考え、この放プロのサポートスタッフに大学生を選んでいきます。

カゴメンの役割は、中高生をエンパワメントすることです。具体的には、中高生の心の中にあるやりたいことを一緒に探すこと、それを実現するために中高生と一緒に悩むこと、放プロを中高生にとって居心地の良い居場所にする、中高生に自信を持って活動してもらうために背中を押ししたり見守ったりすることなどです。

カゴメンとして中高生を適切にエンパワメントすることは非常に難しいことです。そのため、中高生と関わる約1ヶ月前から「カゴメン研修」を行います。カゴメン研修では、中高生との関わり方や、放プロでのルール、カゴメンとしての意識・責任形成などを行います。この研修によって放プロ本番の心の準備をし、より適切に中高生と関わるすることができます。

また、放プロの進行中には、カゴメンが日々中高生と関わる中で生まれる沢山の悩みを共有し、解決策を考える場として、週に1回「かごカフェ」を開催したり、各企画の進捗状況を共有しアドバイスしあう場として「カゴメンミーティング」を開催したりします。





## キックオフイベントについて

キックオフイベントとは、放プロが始動して初めての参加者の中高生とカゴメンとの全員の顔合わせイベントです。このイベントは、カゴメンと中高生だけでなく、中高生同士の親交も深め、これから半年間一緒に活動していく仲間とのより良い関係を築く第一歩となります。また、このイベントでは、参加者中高生が放プロでやりたいことを探するための「マインドマップ」を作成します。マインドマップには自分の好きなものや苦手なもの、興味のあることや自分を形成しているものなど、自分に関わることをできるだけ沢山書き出します。このマインドマップをもとに半年間の中で実現する企画を決めるので、キックオフイベントは非常に重要な場だと考えています。



## プロジェクトークについて

プロジェクトークとは、本プロジェクトに参加している中高生世代の若者とカゴメン全員が集まり、お互いの進捗状況を確認したり、中高生同士の交流を目的とした会です。10月から月1回のペースで行っています。

また、プロジェクトークの後には、カゴメンだけでその日の反省会を行い、中高生の様子、そして自分と自分以外のカゴメンの中高生に対する接し方はどうだったか、などを話し合います。



# 今年度実施プロジェクトについて

## DJ練習セミナー

実施日	3月14日
場所	島村楽器静岡パルコ店

### 1. はじまり

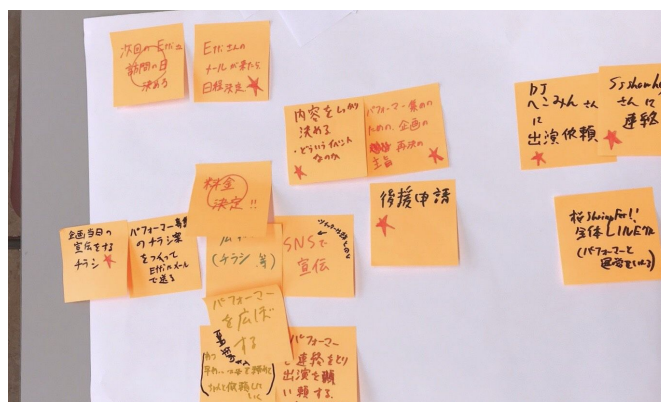
この企画は、2年前から放プロに参加してくれた音楽好きの高校生が「DJをしてみたい」という思いから始まりました。この企画者である高校生の男の子は、去年中高生参加型音楽フェス、「桜ShrimpFes!!」の企画を行いました。しかし、当日体調が優れず本番に出ることができず本人も悔いの残る企画となってしまいました。今年はこの桜ShrimpFes!!のリベンジをするために放プロに参加してくれました。

去年の経験をもとに企画を考えていき、去年お世話になった「Ettie」に今年も協力をしていただきました。宣伝用のチラシも作成し、企画は少しずつ動き始めていました。



「Ettie」の協力のもと完成した宣伝チラシ

企画ミーティングの様子



しかし、企画ミーティングを進めていくにあたって自分の本当にやりたいことについて考え始めていきました。サポートしている大学生と話し合っていくうちに、自分はDJをやってみたいんだと気づくことができ、桜ShrimpFes!!からDJ練習セミナーに移行することになりました。



## 2. 企画ミーティング

DJ練習セミナーを行うにあたって場所、どのくらいの規模で行うか、誰に教えてもらうかなど本番に向けてより綿密に話し合いを重ねていきました。



## 3. 協力者との出会い

誰に協力をしてもらうか考えている際、去年桜ShrimpFes!!を開催するにあたり声をかけたDJの方に、企画の説明をして協力してもらえないか相談したところ引き受けてくださったことが始まりです。そして、DJの知り合いを次々に紹介していただき島村楽器で働いている社員の方までつながることができました。多くの方の協力によってこのDJ練習セミナーが生まれたといっても過言ではありません。



開催地が島村楽器に決まった際の顔合わせ

## 4. 企画当日

2019年3月14日(木) 島村楽器で多くの方の協力のもと誕生したDJ練習セミナーの本番を迎えた。企画ミーティングで話し合った結果、当日の参加者は身内の中で募集し計6人で行いました。



DJ機材について教えてもらっている様子





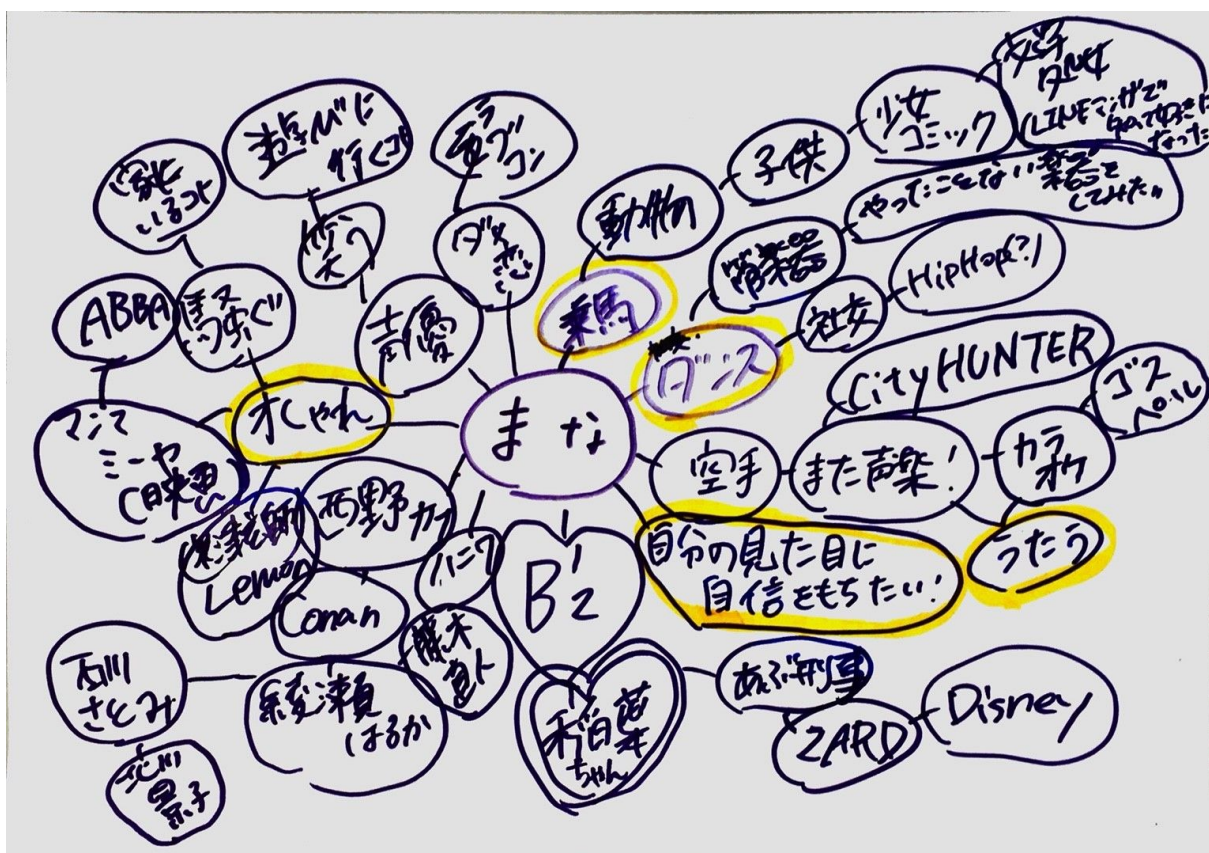
# Don't say good-bye! ~フラッシュモブin静岡~

## 「別れと出会い」

実施日	3月10日
場所	静岡駅北口地下イベントスペース

### 1.はじめに

このフラッシュモブは、高校2年生の女の子のたくさんの「好き」が詰まった企画です。本番当日へ向け、企画者の友達を中心にカゴメンやカゴメンの友達などを巻き込んでおおよそ12回の練習を重ねました。

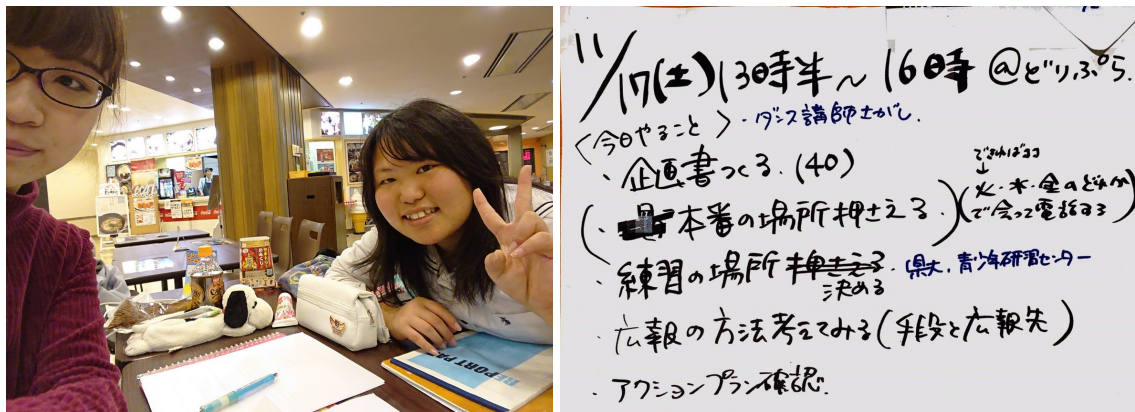


【最初のプロジェクトークで書いたマインドマップ】

歌やダンスなどやりたいことがたくさんあり、カゴメンと相談した結果、たくさんのやりたいことが含まれているフラッシュモブを行うことになりました。

## 2.企画ミーティング

主に毎週木曜放課後に、エスパルスドリームプラザで企画についてのミーティングを行いました。ミーティングはおよそ2~3時間であり、練習場所の選定やリスク管理などについて話し合いました。企画者やカゴメンがテスト期間の間はLINEの電話を使うなどして負担の少ないようにしてミーティングを行いました。また、フラッシュモブの練習が始まってからは参加者の他の中高生も交えてミーティングを行うこともありました。



【企画ミーティングの様子】

## 3.練習

フラッシュモブ当日へ向け、できるだけ多くの人が集まれる日を調節し、静岡市青少年研修センターで、参加者約20名と約12回の練習を重ねました。練習内容は、ダンス・歌・楽器演奏の個人練習と全体練習です。練習に来れなかったメンバーには練習風景を動画で送り、自主練習ができるように配慮しました。

ダンスの振り付けは静岡県立大学ジャズダンス部の方やダンス経験のある参加者が考え、歌は合唱やボイスパーカッションの経験がある参加者が指導し、楽器はそれぞれが得意な楽器を自主練習しました。

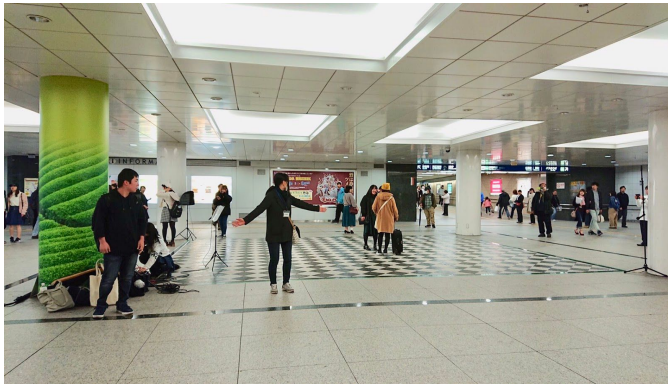


【練習の様子】

## 4.企画当日

当日は、午後の企画本番に向け午前中に最終リハーサルを行いました。フラッシュモブをよりよくするための調整は直前まで行われ、みんながフラッシュモブを成功させようという気持ちでいっぱいでした。

本番は多くの方が足を止めてパフォーマンスを楽しんでいました。また、演者の他に歩行者の誘導を行う係を置き、安全に配慮しました。本番には放プロの他の企画の中高生やカゴメンの友達も手伝いに来てくれました。



【本番の様子】



# ファッションショー

## (Unique Personality Fashion Festival)

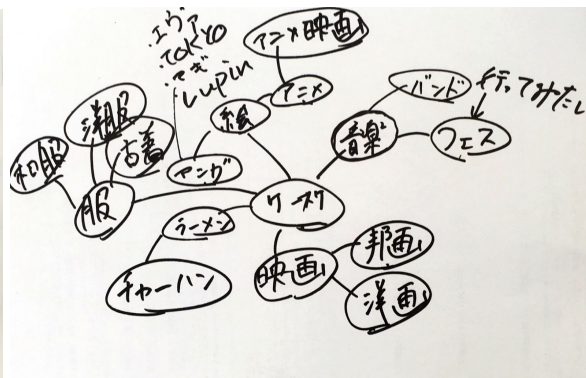
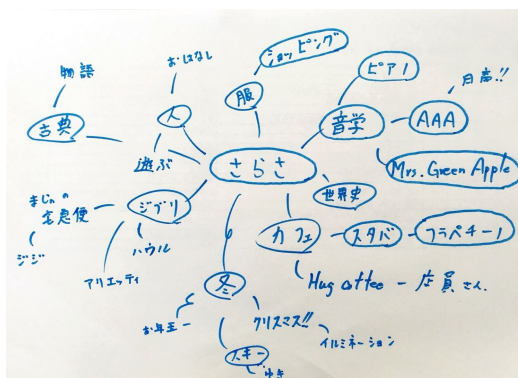
実施日	3月3日
場所	七間町コミュニティホール

### 1. はじまり

この企画は、前年度の「もうひとつの放課後探しプロジェクト」の企画のファッションショーにモデルとして参加した高校生2名が、今年は自分がファッションショーを企画してみたい！という思いから始まりました。2名とも古着が好きで、静岡に沢山あるがあまり知られていない古着屋を知ってもらいたい、古着のユニークさを伝えたいという思いや、ファッションショーを通じて少しでもファッションに興味を持ってほしい、企画・運営メンバー、モデル、来場者あらゆる関係者にとって日常では体験できないようなものを体験してもらいたい、という思いをもとにこの企画を進めていきました。

企画名はUnique Personality Fashion Festival、略してUPF2です。

本来、当プロジェクトは、7月から3月の半年間行われるものですが、前年度からの引継ぎのため、このファッションショーの準備は1年間をかけて行われました。



【マインドマップ】

### 2. 企画の進行

毎月行われるプロジェクトークをはじめ、進捗状況に応じてMTを重ねていきました。

主に当日の会場決め、企画の広報のチラシ・モデル募集のチラシ  
mmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmmの作成や、当日の衣装提供の願いをどうするか、などを話し合いました。

プロジェクト始動当初は、より多くのファッションに興味のない人にもファンションショーを見てもらうために、屋外での開催を考えていましたが、費用がかかることや雨天時の対策等が難しく、屋内での開催にしました。

モデルは一般から広く募集し、今までやってみたかったけど機会がなかったという人や、前年度のファッションショーにモデルとして参加し、もう一度あの感動を味わいたいという人等、約35名の人がモデルとして参加しました。

また、モデルのヘアメイクを担ってもらうために、「美容室FORTE」様、「フリーエース美容学校」様にご協力をお願いし、当日を更に楽しく盛り上げるために、ダンススクールの「HOODstudio」様にご協力をお願いしました。

MT中は企画者の高校生の胸のうちにある気持ちや思いを汲み取り、中高生が発言しやすい雰囲気を作ることを大切にしていました。

毎回のMTで話し合うことは、高校生の子が事前に考えてきており、それにそってMTを行っていました。

### 高校生が企画した ファッションショー モデル大募集

2019(平成31)年3月3日(日)にコミュニティホール七間町で開催する  
ファッションショー「Unique Personality Fashion Festival 2019」の参加者を  
募集しています。

**募集人数** 35人(先着順)

**モデル条件** 静岡県在住・在学の中高生、大学生、専門学生、社会人  
(20代まで)

**参加費** 円(保険加入のため)

**参加者  
顔合わせ** 2019年1月13日(日) 13:00~17:00  
場所:グランシップ 練習室1  
※説明会を行うので、必ず参加してください。  
※説明会の後、少し練習を行います。

**練習日程** 2019年2月3日(日)、2月10日(日)、3月2日(土)  
※全て時間は13時~17時です。  
※練習は静岡市内にて行います。

**【申し込み・お問い合わせ先】 ※申込締切:2019年1月8日**

申込先 UPF2 2019実行委員会  
申込方法 右のQRコードよりお申し込み下さい。 【申し込みフォーム】  
お問い合わせ UPF2.information@gmail.com

**公式LINE** LINEの「友だち追加」から「QRコード」または「ID検索」で登録してください。  
ID検索 @ijg9046z

【モデル募集チラシ】

### 高校生が企画したファッションショー Unique Personality Fashion Festival 2019

**3.3(日)**  
14:00~15:30  
(開場:13:30)

定員 150名

場所:七間町コミュニティホール  
多目的ホール

**入場料**  
【一般(大学生以上)】...前売 ¥400 当日 ¥500  
【高校生】...前売 ¥300 当日 ¥400  
【中学生】...前売 ¥200 当日 ¥300  
※小学生以下は無料です。  
※お申し込みがけからはございません。  
※会場内に駐車場はございません。  
※公共交通機関をご利用ください。

**(アクセス)**  
【電車】 (A)下車 徒歩15分  
静岡駅 静岡駅 下車 徒歩12分  
【バス】 静岡ジャストライン 黒川・静岡市役所東区役所前 徒歩5分  
七間町停留所 徒歩2分

詳しくはイベントホームページをチェック!

主催:UPF2 2019実行委員会/TKG(若狭エンタメメント委員会)  
協力:FORTE/フリーエース美容学校/Epik/Catalyst/HEIGHTS/chubby x eight/The Thrift Tokyo shizuoka/catalog

お問合せ:UPF2 2019実行委員会 UPF2.information@gmail.com

【当日広報用チラシ】

### 3.企画当日

2019年3月3日(日)に1年間準備してきたファッションショーの本番を七間町コミュニティホールで迎えました。

当日は雨が降り足元の悪い中、125名もの観客に来ていただくことができました。

朝からモデルの衣装チェックやヘアメイクを行い、万全な準備の下、レッドカーペットを颯爽と歩くモデルの方々の姿はきらきらと輝き、多くの観客に感動を与えていました。

また、HOODstudio様のダンスパフォーマンスや、大道芸人の方によるバルーンアートパフォーマンス等を交え、観客に飽きさせない工夫を凝らし、素晴らしいショーとなりました。

企画者の高校生2名は、全体を見て、ショーがスムーズに進行するように自ら指示を出していました。2名ともショーを見に来てくれた観客を楽しませることや、古着屋に貸している服を慎重に扱うこと等、周りをよく見て行動をしていました。

### 4.最後に

今回の企画を実現するために多くの方々にご協力いただきました。

また、この企画はゆめ基金の助成金を頂いて行いました。

この場をお借りして御礼申し上げます。

- 運営メンバー：5人(モデル・カゴメン含む)
- モデル：35人
- 当日スタッフ：14人（運営メンバー含む）
- 清水市民活動センター
- FORTE（美容院）
- フリーエース美容学校（美容学校）
- Epic.（古着屋）
- Catalyst infinity clothing（古着屋）
- HEIGHTS（古着屋）
- chubby×eight（古着屋）
- CATALOG（古着屋）



- The Thrift Tokyo shizuoka (古着屋)
- HOODstudio (ダンススクール)
- 静岡スナップ (カメラマン)
- 七間町コミュニティホール職員・技術者

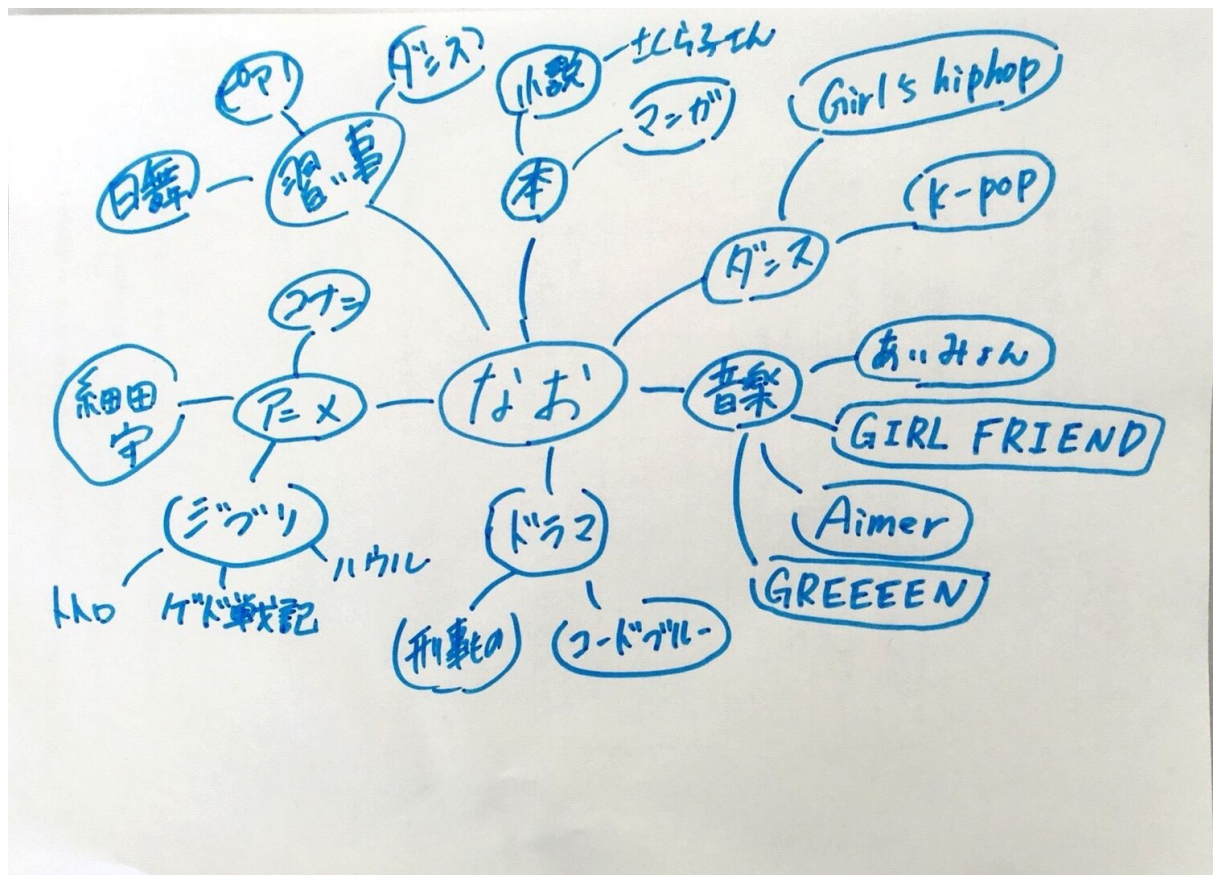


## Delight Dance Festival(ダンスステージ)

実施日	3/24(日)
場所	コミュニティホール七間町

### 1. はじめに

この企画は、小学校からダンスをやっている高校二年生の女の子が自分がダンスステージを作る側をやってみたいという思いから生まれた企画です。途中から小学校以来の友達3人も加わり、みんなが楽しめるダンスステージを目指しました。



【マインドマップ】

## 2. 企画を進める

週に一回程度の割合で、高校生の都合のつく日にミーティングを行いました。今自分たちがやらなきゃいけないことは何か？こういうこともやっていきたいね！などを話し合い、お金の集め方や会場をどこにするか等を回を重ねて具体的にしていきました。振付を教えてくれる人や一緒にステージで踊る人を探して集めていきました。



【当日広報用チラシ】

## 3. ダンスステージ当日

当日は約90人ほどの人たちに来て頂き、大いに盛り上がりました。一緒に踊った人たちも当日の運営サポートスタッフもみんな同世代の若者たちで構成され、交流を深めつつ終えることが出来ました。当日の最初の方は緊張している様子でしたが、後半になってくると笑顔が増えていたのが印象的でした。最後にみんなで取った写真は全員が楽しそうで、すごく素敵な企画だったなと思います。

## 4. Delight Dance Festivalを振り返って

この企画の名前は企画者の高校生が考えたもので、企画に関わる全ての人たちの喜びがあふれるようにという想いが込められたものです。今回のDelight Dance Festivalには本当にたく



さんの人たちが関わってくださりました。本当に親切な方ばかりで、純粋に高校生の企画を応援して下さっていることが伝わってきました。企画した本人はもちろん、関わってくれたすべての人たちの喜びがあふれる企画になったのではないかなと思います。「自分のやりたい事をやる」ということがこんなにも大きなエネルギーを生むという事、そしてだからこそ大切なのだという事を高校生から感じました。本人の楽しそうな表情は今でも忘れられないものです。



## 放プロ報告会について

放プロ報告会とは、本プロジェクトを終えた3月の終わり頃に行う報告会です。  
今期の報告会は、3月21日に静岡県総合社会福祉会館シズウエルで行い、約15名の方にお越しいただきました。また、講師として、現在福島県郡山市でユースワーカーとしてご活躍している、櫻井龍太郎さんにお越しいただき、ユースワークや放プロについて講演をして頂きました。

## 収支報告

### 支出の部

種別	摘要	金額
旅費	企画ミーティング時のスタッフ交通費	¥62,020
雑役務費	模造紙代、参加者記念品用色紙代	¥756
その他経費	参加者募集チラシ代、報告会チラシ代	¥6,365
食事等	プロジェクト食事代、菓子代	¥1,895
報告会	講師謝礼金・講師旅費	¥56,800
	会場代	¥8,800
	支出額合計	¥136,636

### 収入の部

種別	摘要	金額
参加費	報告会参加費	¥4,800
	自己資金	¥131,836
	収入額合計	¥136,636

# おわりに

2018年度第9期もうひとつの放課後探しプロジェクトを実施するにあたり、独立行政法人国立青少年教育振興機構「こどもゆめ基金」より助成金を頂いて当プロジェクトを進行いたしました。また、私たちの活動に対して、多くの方にご協力いただきました。心から感謝申し上げます。

H30年度 4月30日

YEC(若者エンパワメント委員会)

## 【YEC(若者エンパワメント委員会とは)】

YECは静岡県立大学の学生を中心に活動しています。

若者が社会の一員として自身を持ち、社会の中で「こうありたい」という自分を実現させている状態、そしてそれを通じて若者が社会のチカラになっている状態を実現することを目指して発足しました。

内閣府担当特命大臣より平成25年度社会貢献青少年表彰をいただきました。

## 【お問い合わせ】

Email [yec.information@gmail.com](mailto:yec.information@gmail.com)

HP <http://youth-empowerment.jimdo.com/>